

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.1-1)

<b>件名</b>	エンドピース酸洗浄槽の試料採取用配管における詰まり							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: エンドピース酸洗浄槽</p> <p>(2) 発生の状況 エンドピース酸洗浄槽の運転中</p> <p>(3) 概要 エアリフト配管の不溶解残渣(溶解しない金属の微粒子)の詰まりによる、エンドピース酸洗浄槽の試料採取作業時の試料採取不良</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備及び前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働しているエンドピース酸洗浄槽、試料採取系統で起きた事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> エンドピース酸洗浄槽の試料採取用配管の詰まりにより、試料採取は一時的にできなくなるが、エンドピース酸洗浄工程の運転に影響が生じるものではなく、また、詰まり除去システム(フリーズバルブ)を作動させることで容易に復旧させることができるので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 詰まり除去の復旧作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> エンドピース酸洗浄槽の試料採取は、一時的に停止する必要があるが、分析試料採取設備はエンドピース酸洗浄工程の補助設備であり運転に支障は生じないが、定められた試料採取時間までに復旧ができない場合は、当該エンドピース酸洗浄槽の運転を一時的に停止する必要がある。その場合は、上流側のせん断機の運転を一時停止する。さらに下流の分離建屋以降の設備は、その中間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>							
<b>対応の概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 詰まりの原因を調査し、エンドピース酸洗浄槽の試料採取用配管に詰まりがあることを確認する。</li> <li>(2) 定められた保守作業手順に従って、試料採取用配管詰まり除去システム(フリーズバルブ)を使用して詰まりを洗浄除去する。</li> <li>(3) 試料採取用配管の詰まりが除去されたことを確認するため、エアリフトを作動させて分析試料が採取できることを確認する。</li> <li>(4) 定常の試料採取ができることを確認した後、定められた操作手順に従って運転ラインへ復帰させる。</li> <li>(5) 上記対応に長期間を要する場合は、待機中である別系統のせん断機、エンドピース酸洗浄槽で運転再開する場合もある。</li> </ol>							
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p style="font-size: small;">(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p style="font-size: small;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="font-size: small;">運転時影響範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

